

算数の研究を始めました

学校の教師は日々の授業や行事を行うだけでなく、授業力を高めるための研修を毎年行っています。昨年度、一昨年度は「外国語活動」の指導力を向上させる研究をしてきました。各学年の教師が英語の授業を行い、全員で見合い検討しました。

今年度と来年度は「算数」の研究に取り組みます。研究テーマは『楽しく基礎・基本から活用力まで身につける算数学習』です。

「できる」「わかる」授業をすることはもちろんですが、「楽しい授業」をすることで「算数が好き」になれば、「基礎・基本」もさらにしっかり身に付くだろうし、「学んだことを生活の中に活用する力」もついていくはずです。

この「橋戸 EDU ニュース」では、算数の研究の様子を中心に、橋戸小学校の授業の様子をお伝えしていきます。(EDUは「教育」を表す“education”からとりました。)

多様な考えを引き出した4年「わり算」の授業

5月25日(水)に今年度1回目の研究授業を行いました。単元は「わり算」。指導者は算数少人数担当の齋藤教諭です。

この日は『72まいの色紙を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになりますか。』という問題に取り組みました。

まず、問題を出す時にひと工夫。問題の一部を隠してから「72まい」という数を示しました。ちょっとしたことですが、子どもたちの集中力が高まります。

さて、この問題。72÷3という式は簡単に作れたのですが、これまでに学習している計算では解くことができません。

まずは、自分が考えた方法で一人一人挑戦します。

どの子も一生懸命に考えていました。

右の子は実際に72枚の色紙を使



って考えています。

図を描いて考える子もいます。いろいろな図がありました。

子どもたちの発想の豊かさを感じます。

こうした計算方法は、教師が教えてしまえばものの10分で終わります。しかし、教えられた知識はすぐに忘れてしまうことありますが、自分で考えて見つけた知識は忘れにくいものです。そして、発見する喜びを感じた子は、次からも自分の力で取り組もうとします。学習への主体性が生まれるのです。

代表的な考えは、大きな紙に書いてもらって掲示しました。様々な考えを共有し合うことで、子どもたちの考え方が広がっていきます。

掲示するだけでなく、自分の考えを説明することも大切な活動です。新しい学習指導要領では、文章に表したり言葉で説明したりする「言語活動」を重視しています。仲間の発表を聞いていくうちに、まず10のたば(10の位)から計算して、あまったたばをバラにして計算すれば答えが出せることに、子どもたちは気づいていきました。

この授業では、4年1組の子どもたちの授業態度もすばらしかったです！

- ① 黒板を食い入るように見つめながら、素早くノートに書いている。
- ② 手の挙げ方が指先までピンと伸びて、天井に向かってる。
- ③ 線は定規を使って引き、ノートをいねいに書いている。

学習に前向きに取り組んでいる証拠です。授業態度のよさは、学力向上につながります。

子どもたちが主体的に取り組み、互いに学び合い発見する。そんな授業でした。これからも子どもたちの目が輝く授業をしていけるよう教師一同努力していきます。

